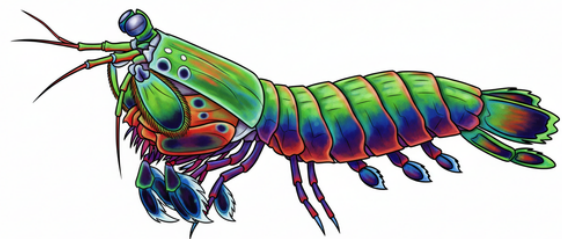


きけんせいぶつずかん
危険生物図鑑



療育の引き出し

モンハナシャコ

きけんど



あたたかい^{あたた}海の浅い^{うみ}ところに生息^{あさ}しています。モンハナシャコの武器^{ぶき}は、「ほきやく」とよばれる前足^{まえあし}のような部分^{ぶぶん}でのパンチです。

パンチはとても早く^{はや}、貝^{かい}のからをこわして食べたり、身^みを守る^{まも}ために使^{つか}われます。水そう^{すい}に入^いれていると、ガラスをたたいて割^わってしまうので注意^{ちゅうい}しましょう。

モンハナシャコの目^めは、10万色^{まんしよく}も見分^{みわ}けることができると言^いわれています。人間^{にんげん}や他^{ほか}の動物^{どうぶつ}には見^みえないものがモンハナシャコには見^みえているよう^なです。何^{なに}が見^みえているのか気^きになりますね。

だい1もんモンハナシャコの「ぶき」は 何ですか？

だい2もんモンハナシャコのパンチは みをまもる igaいに どんな つかいかたを しますか？

だい3もんモンハナシャコの めには どんな とくちょうが ありますか？